

行政評価結果一覧

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

- 1 未来を担う人と文化を育むまち
 (1) 輝く子どもを育むまちづくり
 ① 学びの環境の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学校教育施設を整備する		施策の総合評価	B	課題 方向性	引き続き安全で安心な教育環境の確保が求められる。				
			担当部	教育委員会						
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見		
構成事業事業名 (評価対象外)	小学校管理事業、中学校管理事業、幼稚園管理事業、小学校施設整備事業、中学校施設整備事業、幼稚園施設整備事業、学校教育施設整備基金事業、こども学習センター管理事業、教育委員会費事務経費、事務局費事務経費									

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	教育の機会均等を確保する		施策の総合評価	A	課題 方向性	就学困難な子どもたちに適切な支援を行うことで、誰もが等しく学べる機会が確保できているため、引き続き施策を実施していく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市奨学金 事業	管理課	778,549	520,000	1,298,549	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	学習意欲と能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な生徒に対して、教育の機会均等を確保するために継続していく。
小学校通学費 補助事業	管理課	493,081	156,800	649,881	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
中学校通学費 補助関係事業	管理課	389,274	113,919	503,193	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
構成事務事業名 (評価対象外)	小学校特別支援教育就学奨励事業、中学校特別支援教育就学奨励事業、小学校要・準要保護児童就学援助事業、中学校要・準要保護生徒就学援助事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	施策の方針に沿った取り組みが推進できている。引き続き目標達成に向けて取り組みを進める。		
			B	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
放課後児童保育事業	生涯学習課	32,542,654	3,765,364	36,308,018	B	共働き世帯や一人親世帯の増加、就労の多様化により、学童保育を利用する家庭は増加している。保護者が安心して就労を継続するためには、子どもが安心して放課後を過ごせる環境の維持は不可欠であり、現状の体制を維持する。	A	引き続き保護者が安心して就労と子育ての両立を図れる環境の維持に努める。
学校支援地域本部事業	生涯学習課	1,557,585	216,100	1,773,685	B	地域住民が自らの経験や知識を活かし教育活動の支援に参画することは、生涯学習の成果を発揮する機会の際に留まらず、学校・家庭・地域の絆を強める手段にも通じる。	B	学校支援ボランティアは児童・生徒との触れ合いに満足感を得ることができ、学校は支援を受けることで環境の整備が進んだり、よりきめ細やかな指導が可能になったりするなど、双方にとって有益である。
預かり保育事業	管理課	11,535,105	548,286	12,083,391	B	教育と子育ての両面において引き続き支援し、子どもたちを守り育てるまちづくりにつなげる。	B	多様化する保護者のニーズの把握に務め、事業を継続していく。
相生っ子学び塾事業	生涯学習課	2,835,233	2,882,536	5,717,769	B	基礎学力の定着と自学自習の習得だけでなく、誰もが等しく学べる機会を確保する取り組みは重要である。	B	子どもの将来性を育むためにも等しく学べる機会の確保は必要である。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	施策の方針に沿った取り組みが推進できている。引き続き目標達成に向けて取り組みを進める。		
			B	教育委員会				
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
青少年育成補助金事業	生涯学習課	324,395	125,000	449,395	B	学校・家庭・地域が一体となって、心豊かでたくましい子どもを育む環境を整えるためにはPTA活動が重要な役割を果たす。	B	子どもの将来を育むためにも、PTA活動を支援する必要がある。
青少年育成事業	生涯学習課	2,695,447	975,320	3,670,767	B	青少年の健全な育成を図るためには、学校や家庭では体験することの出来ない多様な活動の場を提供することが不可欠であり、本事業を継続していく必要がある。	B	引き続き青少年が集い、多様な経験を得ることのできる事業を実施する。
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	2,760,326	1,427,581	4,187,907	B	放課後における子どもたちの安全で安心な居場所づくりの推進には不可欠な事業である。	B	少子化や核家族化が進展し、子どもが世代を超えて触れ合う機会が減少している等、地域社会での人間関係が希薄化しており、学校・家庭・地域のつながりの強化は必要である。
構成事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②知・徳・体の調和のとれた人材の育成

取り組み事項	確かな学力を育成する		施策の総合評価		課題 方向性	児童生徒の学力向上のため、現状の把握・分析を継続して実施し、学力の定着、英語学習の充実を図る取組みを実施した。今後現状の把握・分析の方法については、適宜見直しを行いながら最適な分析が行えるよう実施していく必要がある。		
			A	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
外国人英語指導助手招致事業	学校教育課	2,985,413	1,292,460	4,277,873	B	生きた英語に触れることで、生徒の語学力やコミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図られているため、継続して実施する。	C	年間配置計画に基づき、事業実施が出来たが、長期休業期間中等のALTが学校に配置されていない場合でも生徒用端末を活用するなど、積極的にコミュニケーションが取れるような体制づくりの検討が必要である。
ぐんぐん学力アップ事業	学校教育課	1,377,442	876,570	2,254,012	B	児童・生徒の学力を分析し、課題を把握することで、授業改善に活かすことができ、学力向上につながっているため、継続して実施する。	B	標準学力検査の結果により学力の状況を把握し、分析することで効果的な学習計画を図ることができている。評価と指導の一体化のために本事業は必要不可欠である。
英語教育推進事業	学校教育課	1,686,856	7,202,750	8,889,606	B	幼児期から外国語に触れる機会を提供することで、英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図られている。令和5年度より英語検定料補助を開始し、英語検定試験が受けやすい環境整備ができている。英語学習に対する意欲向上にもつながるため継続して実施する。	B	幼児期から、外国語活動や外国語に触れる機会と使用する機会があることで、コミュニケーション能力を育成し、異文化に対する理解を深める場の景況が出来ている。また、英語検定試験補助の対象を英検4級以上にするなど、より受験しやすくなるよう体制づくりを行った。
小学校外国語教育推進事業	学校教育課	2,545,266	15,800,400	18,345,666	B	幼児期から英語力の向上を図り、継続してコミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、系統的に英語力向上を図っているため、継続して実施する。	B	幼稚園に引き続き小学校低学年においても、外国語を通じた実践的なコミュニケーションを取る機会を設けることで、英語への興味や関心を育み、異文化に対する理解を深めることが出来ている。
構成事務事業名 (評価対象外)	指定教育等研究研修事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	豊かな心を育成する		施策の総合評価		課題 方向性	子ども達の発達段階に応じて継続した取り組みやそれぞれの校区の特色を活かした活動を引き続き実施していき、生涯にわたり学習する基礎を培い、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいく。		
	担当課名	人件費（円）	事業費（円）	支出合計（円）			教育委員会	
構成事務事業名 （評価対象）	担当課名	人件費（円）	事業費（円）	支出合計（円）	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
小学校体験活動事業	学校教育課	1,427,340	6,850,000	8,277,340	B	集団活動や地域の人々との交流、自然、社会、芸術文化に触れる体験など、児童の発達段階に応じた体系的な体験教育の推進を図っており、豊かな心の育成に必要であるため、継続して実施する。	B	地域の特色を活かした体験活動や、自然学校を通じて児童が人や自然、地域社会と触れあうことができ、主体的に判断、行動し、問題解決する能力を高めることが出来ている。
心豊かな体験活動推進事業	学校教育課	1,621,977	1,835,136	3,457,113	B	トライやる・ウィーク事業等、地域人材を活かした幅広い体験学習を通じて、生徒の自尊感情、他人への思いやり、ふるさとを愛する心を醸成しており、豊かな心の育成が図れているため、継続して実施する。	B	生徒へのアンケート結果により希望職種を体験出来た生徒数は上昇傾向にある。今後も生徒のニーズ等を把握しながら、生徒が地域の大人や親の生き方への意識を高め、モラルなどの倫理観の育成、学ぶこと、働くことの意義を深められるよう事業所と連携を深める必要がある。
創意ある学校園づくり推進事業	学校教育課	1,167,823	2,000,000	3,167,823	C	校区の特色を活かした授業の実施は、豊かな心を育成するために有効であるため、継続して実施する。	C	身近な市内学校間での合同授業や体験活動、Web会議システムを活用した交流など「多様な学びの場の創造」や、地域の伝統文化等を継承・発展させるため、世代を超えた地域での交流を図るなどの「ふるさと教育の推進」を行い、創意工夫された体系的な教育活動の推進と、ふるさとを愛し次代を担う人材の育成に貢献した。
芸術文化活動振興事業	学校教育課	259,516	0	259,516	B	令和5年度対象者がいなかった。児童・生徒の文化活動の振興と向上を図るため、継続して実施する。	B	事業の体制整備及び周知徹底を行っているが、対象者がおらず、事業の実施方法を検討しながら、継続していく。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	豊かな心を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	子ども達の発達段階に応じて継続した取組みやそれぞれの校区の特色を活かした活動を引き続き実施していき、生涯にわたり学習する基礎を培い、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
人権教育事業	人権教育推進室	10,931,603	2,625,915	13,557,518	B	人権教育の実施について教職員への研修機会の充実や子ども達の発達段階に対応した人権教育実践の取組の継続に務める。	B	学校園の人権教育の推進に向け、情報発信、指導助言、研修の場の設定など、教職員への支援を充実させる。人権教育を核にした道徳教育の系統的な推進に向け、研修を充実させる。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	健やかな体を育成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	目標達成には至らなかったが、80%以上の児童生徒が運動やスポーツが好きと答えており、継続した実施が必要である。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
学校給食運営事業	学校教育課	98,749,792	124,406,570	223,156,362	B	幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供することで、学校給食を食育の「生きた教材」として活用することができ、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせ、健やかな体を育成することができているため、継続して実施する。	B	地場産品を給食へ多く取り入れるだけでなく、毎月様々なテーマを決めて食育の推進を図り、家庭や地域と連携しながら食育に取り組むことができた。物価高騰しても質の保たれた給食を提供する必要がある。
クラブ活動運営事業	学校教育課	1,492,219	2,681,422	4,173,641	B	部活動を通して、生徒が自己肯定感を高めることができている。また、部活動指導員を配置することで、指導の充実を図ることが出来ている。引き続き地域の組織、団体と連携した部活動実施の検討を進めていく。	C	部活動をより充実させるために、地域移行も含めた検討を引き続き行っていく。
学校体育振興事業	学校教育課	1,976,335	5,118,523	7,094,858	B	学校における児童・生徒の体力・運動能力向上のため、校内マラソン大会や運動部活動の体育大会への参加等の取組みを行っており、継続した事業実施が必要である。	B	中学校総合体育大会の円滑な運営や、各種大会への参加支援をすることで、運動しやすい環境づくりができ、生徒の体力向上を図れている。
構成事務事業名 (評価対象外)	児童・生徒等健康管理事業、ペーロン祭協賛球技大会事業、学校医等委嘱事業、学校健康センター事業、感染症対策事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学びを支える体制の充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	わかりやすい授業の実現のための研究、工夫に取り組んでいる教職員数は増加し、目標達成出来ている。		
			A	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
適応教室事業	学校教育課	5,337,872	220,910	5,558,782	A	不登校対策の施設として適応教室「コスモス教室」が、個々の実態に即した支援を行い、各学校と密に連携を取り、児童生徒が学校への復帰や社会的自立に向けて本事業を進める必要があり、連携を強化するため、拡大して実施する。	A	子どもや保護者からの相談を受け、一人ひとりの特性や家庭環境を考慮しながら、学校への復帰や社会的な自立に向けた適切な支援を行うことが必要である。
相生っ子かがやき顕彰事業	学校教育課	402,250	37,297	439,547	B	権威ある大会等において、成績が顕著な中学生以下の者に相生っ子かがやき顕彰を贈呈することで、児童・生徒のスポーツや文化芸術に親むむ心の向上を図っており、継続して実施する。	B	受賞者について、市ホームページや、広報等を活用し、より多くの人へ情報提供できるよう努め、受賞だけでなく、市民や他の児童生徒のスポーツ及び文化芸術の推進を図ることができた。情報提供の方法を、LINEの活用など周知方法の検討が必要である。
教育研究所運営事業	学校教育課	3,244,929	1,356,773	4,601,702	B	多様化する課題に対応し、より充実した教育活動を展開するため、生徒指導やICT研修、研究部会の研修を実施した。指導力の向上のためにも継続して事業を実施する。	B	研修内容や研究部会の内容を日々の授業に活用することができている。多様化する課題等に対応するためにも、引き続き本事業を実施していく必要がある。
相生市小中一貫教育推進事業	学校教育課	1,297,582	19,611	1,317,193	B	幼小中教職員を対象とした研修会を実施し中学校区の連携を深めることが出来た。より充実した教育活動を展開するため、幼稚園から中学校までの12年間を見通した体系的な取り組みが必要であり、本事業を継続して実施する。	B	研修の実施や中学校区の連携は進める事ができた。教育課題に適切に対応し、充実した教育活動を展開するため、幼稚園から中学校までの12年間を見通した体系的な取り組みが必要であり、継続していく。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学びを支える体制の充実を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	わかりやすい授業の実現のための研究、工夫に取り組んでいる教職員数は増加し、目標達成出来ている。			
			担当部	教育委員会					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
青少年健全育成活動事業	学校教育課	4,812,911	5,697,367	10,510,278	B	青少年健全育成市民大会を開催し、家庭・地域・学校の連携を深めるなど、青少年の問題行動の未然防止や不審者等からの子ども見守り、青少年の健全な育成を図っており、継続して実施する必要がある。	A	幅広い分野や各地域から委員を選任し、青少年の健全育成に努めている。 また、青少年健全育成大会の開催により、家庭・地域・学校の連携をより深めることができている。 また学校との連携を深めるための連携強化の方法について検討を行った。	
構成事務事業名 (評価対象外)	小学校教育振興費事務経費、中学校教育振興費事務経費、教育統計調査事業、教育指導費事務経費、矢野・若狭野小学校交流事業、青少年問題協議会運営事業、補導委員活動事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 誰もが楽しく学べるまちづくり
 ①社会教育環境の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	文化芸術の振興を図る		施策の総合評価		課題 方向性	文化協会に2団体が新規加入し、より一層、市民の文化芸術活動が活発になっている。今後も、文化芸術活動を担う市民の活動を支援できる環境の確保に努める。		
			B	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
文化振興補助金事業	生涯学習課	1,167,823	870,000	2,037,823	B	協会員の高齢化が進んでいるが、ここ数年、相生市文化協会に新規加盟する団体がある。引き続き、市の文化振興の主要団体である相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、文化系活動助成により、文化協会に属していない団体にも幅広く支援を行う。	B	団体数、会員数ともに毎年増加しているため、今後も継続して新規団体の入会を推進するとともに、活発な芸術文化活動を促進していく。
スポーツ・文化芸術顕彰事業	生涯学習課	259,516	89,970	349,486	B	引き続き、優れた取り組みに対して顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。	B	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。
文化振興事業	生涯学習課	5,245,423	2,535,758	7,781,181	B	文化祭・美術展を開催することは文化芸術の担い手である市民の豊かな創造性や感性を育み、文化芸術に対する意識の向上を図るために必要である。	B	文化協会の団体数が増えたことで、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。
相生市文化会館管理運営事業	生涯学習課	16,361,392	100,637,011	116,998,403	B	引き続き鑑賞と発表の両面から多様なジャンルの自主事業を計画し、市民を中心に多くの方々に質の高い文化芸術に親しむ機会の創出を図る。	B	市内だけでなく市外からも多く来館してもらえるような事業を創出するとともに、来館者にとって満足度の高い会館運営を継続して実施していく。また、中長期修繕計画に基づいて計画的に設備の更新を行い、安心して利用できる会館を目指していく。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	文化芸術の振興を図る		施策の総合評価		課題 方向性	文化協会に2団体が新規加入し、より一層、市民の文化芸術活動が活発になっている。今後も、文化芸術活動を担う市民の活動を支援できる環境の確保に努める。		
			B	担当部				教育委員会
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
文化財事業	生涯学習課	5,380,744	1,875,720	7,256,464	A	市域に存在する貴重な文化財の保存・啓発は市の責務である。引き続き、歴史講座・史跡めぐり等を通して、ふるさと相生の歴史文化の理解を深めるとともに、郷土愛の醸成に努める。	A	市域に存在する貴重な文化財を適切に保存するとともに、特別展や歴史講座・史跡めぐりを通して啓発することで、市民が郷土の歴史文化に理解と愛着を深め、郷土愛の醸成に努める。
資料館管理事業	生涯学習課	5,650,411	3,006,046	8,656,457	A	引き続き、市域に存在する貴重な資料等を適切に保存・展示できる環境を整備・維持するとともに、常設展示、特別展の充実に努める。	A	郷土の歴史文化の啓発の充実に努めるためにも、貴重な資料を適切に展示・保存するための環境を整える必要がある。
スポーツ・文化芸術顕彰事業	体育振興課	1,686,856	0	1,686,856	B	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の文化芸術活動への関心を高める。	B	今後も功績に相応した顕彰を贈呈していく。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	人権啓発活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	人権問題が多様化・複雑化する中で、市民向けの学習会、啓発事業、情報誌の発行は適切な手法と言える。年間を通じての市民人権学習会の実施、推進強調月間や人権週間などに合わせたイベントの開催、年4回に渡る情報誌の発行など、効果的な方法を選択できている。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
人権啓発事業	人権教育推進室	6,538,661	5,230,920	11,769,581	B	市民が参加しやすい環境を整え、同和問題やインターネットでの人権侵害をはじめ、さまざまな人権課題について考えるとともに、学びを通じて人と人とのつながりの大切さについて再認識し、住民間の絆を更に深める機会とする。今後も関係課室と連携し、啓発活動を進めていく。	B	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加人数が減少した事業もあったが、徐々に新型コロナ感染症前の参加人数に戻ってきている。今後、より一層事業の充実を図り、市民の人権意識の醸成に努めたい。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生涯学習環境をつくる		施策の総合評価	B	課題 方向性	インターネット等の普及により学びの形態が変化していく中で、集団で学ぶことの大切さを伝えていく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
公民館活動事業	生涯学習課	13,991,726	4,868,653	18,860,379	B	地域における生涯学習の拠点としてライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティの拠点として同好会活動の活発化に努める。	B	市民に積極的に公民館活動を周知し、公民館講座等の参加を促し、生涯学習活動を支援する。
多目的研修センター活動事業	生涯学習課	4,133,912	840,396	4,974,308	B	地域における生涯学習の拠点としてライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティの拠点として同好会活動の活発化に努める。	A	市民に積極的に公民館活動周知し、公民館講座等の参加を促し、生涯学習活動を支援する。
図書館運営管理事業	生涯学習課	0	73,890,711	73,890,711	B	図書館が「生涯学習の拠点」としての役割を今後も担えるよう、サービスの充実を図る。	B	引き続き、指定管理者との協議・調整により円滑な管理運営を図る。
高齢者教育事業	生涯学習課	4,537,071	1,048,024	5,585,095	B	新たな学びを通して自己を高めるとともに、長い人生の中で培った経験を地域社会で活かすことができるように努める。	B	高齢者の心身ともに健康で自立する心を養い充実した人生の創造と、地域社会のリーダー的役割を果たす人材の育成に努める。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会教育事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性			
			B	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
市民体育館管理運営事業	体育振興課	2,370,685	59,893,256	62,263,941	B	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるように意識を持って管理していく。	B	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識を持って管理していく。
市民プール管理運営事業	体育振興課	519,032	6,101,000	6,620,032	B	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。
市民グラウンド管理運営事業	体育振興課	2,440,517	5,570,381	8,010,898	B	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。	B	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。
温水プール管理運営事業	体育振興課	1,946,373	71,792,753	73,739,126	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項			施策の総合評価	B	課題 方向性			
	スポーツ活動の支援・充実を図る		担当部	教育委員会		利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、整備改修計画により施設の修繕を行う必要がある。レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。		
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
社会体育振興事業	体育振興課	4,381,938	2,052,525	6,434,463	B	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるように支援することは重要であるため継続して実施していく。	B	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるよう継続して実施していく。
ジュニアスポーツ振興事業	体育振興課	4,282,142	1,650,000	5,932,142	B	生涯にわたりスポーツが楽しめるよう、幼少期からスポーツに触れる機会の提供や、ジュニアを対象としたスポーツ教室や大会などを実施していくことが必要である。	B	スポーツを通じた青少年育成の観点からもスポーツを楽しむことのできる環境の場を提供していくことが必要である。
レクリエーションスポーツ振興事業	体育振興課	5,310,302	3,387,451	8,697,753	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。
スポーツ教室事業	体育振興課	569,051	798,726	1,367,777	B	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気楽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。	B	スポーツを気楽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会体育費事務経費、相生市スポーツ推進委員事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

2 安心して暮らせる、強くなやかなまち
 (1) 安全で安心なまちづくり
 ①安心して暮らせるまちづくりの推進

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	交通ルールの普及・啓発を推進する		施策の総合評価	B	課題方向性	全国交通安全運動期間を中心に、子ども又は高齢者を対象とした交通安全教室や、街頭キャンペーンを行い、交通安全意識の普及に努めた。交通事故発生件数も年々減少し、成果として表れている。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
交通安全推進啓発事業	危機管理課	2,071,421	6,282,429	8,353,850	B	市民の交通安全意識の醸成を図るため、引き続き実施する。	B	交通安全教室やキャンペーン等の交通安全に関する啓発活動を引き続き実施するとともに、市民へ広く広報できる新たな取り組みも検討していく。
交通安全協会負担金事業	危機管理課	873,513	270,000	1,143,513	B	効果的に交通安全教室や交通キャンペーンを実施するため、継続して行う。	B	今後も警察、安全協会と市が連携し、効果的な交通安全教室、自転車教室の実施を継続するとともに、新たな取り組みについても検討する。
放置自転車対策事業	危機管理課	549,117	0	549,117	B	放置自転車が減少傾向にある現在の状況を注視しつつ、継続して実施する。	B	駅前を中心とした自転車駐輪場の整備が進み、放置自転車も年々減少しているが、日々のパトロールが重要である。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	防犯対策の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	自治会による防犯設備設置支援として、防犯カメラ10台、防犯灯37台の設置補助を行った。地域における犯罪防止のため、引き続き、防犯環境整備の啓発と支援を行う必要がある。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	地域防犯設備設置補助金交付事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②防災力の強化

取り組み事項	災害への備えの充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	災害時の指定避難所用として、感染症対策用備品の整備を進めた。平時における防災対策は、今後も感染症の流行を見極め、状況に応じた対応が必要となる。		
			担当部	企画総務部				
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
安全安心のまち推進事業	危機管理課	1,098,235	2,031,580	3,129,815	B	市民の継続的な防犯意識の醸成を図るため、引き続き実施する。	B	防犯カメラについて、幹線道路や公共スペースへの設置を防犯協会が行い、安全安心なまちづくりを行うことができています。また、高齢者を対象とした簡易型自動録音機の配布及び自動録音機購入補助を行い、特殊詐欺防止を図った。
防災訓練事業	危機管理課	1,342,526	0	1,342,526	B	災害時に一人ひとりが命を守る行動をとることができるよう、防災力の向上を図るため、継続して行う。	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、大人数が集まる活動を積極的に実施できていない。今後は図上訓練など、少数単位で可能な訓練が有効となる。
自主防災組織事業	危機管理課	1,048,093	254,410	1,302,503	B	地域における防災意識を高め、相互に助け合うことができる関係性の構築を図るため、引き続き実施する。	B	訓練助成を活用する自主防災組織も年々減少し、例年同じ組織が取り組んでいる状況から、他地域も活動を促進するための周知・広報活動が必要である。
構成事業事業名 (評価対象外)	防災事業、水防業務経費							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	非常備消防体制の強化を図る		施策の総合評価	C	課題 方向性	現行は、消防団員自らが、団員を勧誘し、定数維持に努めていたが、今後は、現行の方策と並行して、積極的な広報活動で、入団者を募る必要がある。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	消防団活動事業、消防団運営事業、消防操法大会等事業、消防施設整備事業、消防自動車等購入事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

3 健やかな暮らしを守り支え合うまち
 (1) 互いに支え合う福祉のまちづくり
 ①地域福祉活動の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉の体制づくりと活動を支援する		施策の総合評価		課題方向性	新型コロナウイルス感染症の第5類感染症移行により、中止となった事業が再開されるなど、利用者は回復傾向にある。今後も継続して、各施策を実施することで地域福祉力を維持していく必要がある。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
戦没者遺族等 団体活動補助 事業	社会福祉課	1,167,823	150,000	1,317,823	B	戦没者遺族が高齢化していく中、戦争の惨禍と平和の尊さを次世代に引き継いでいくためにも、団体の活動を支援し、存続させていく必要がある。	B	戦争の惨禍と平和の尊さを次世代に引き継いでいき、世代間交流を途絶えさせないためにも団体への支援は必要である。
地域自殺対策 緊急強化事業	子育て元気課	519,032	385,300	904,332	B	自殺者の増加は避けなければならない、自殺を未然に防ぐための事業として認められるため、継続していく必要がある。	B	コロナ禍を経て、急激に生活様式や価値観などの転換が進み、その影響で不適応感を抱えている人が増加しつつある。その中で、危機を未然に防ぐためにも等事業は継続して実施することが必要である。
総合福祉会館 管理運営事業	社会福祉課	2,919,559	27,644,104	30,563,663	B	地域福祉の充実を図るため、総合福祉会館の維持管理と適切な運営を継続していく必要がある。	B	地域福祉活動の拠点としての機能を維持するためにも、今後も総合福祉会館の適正な管理運営に努める。
老人いこいの 家等管理事業	長寿福祉室	454,153	1,591,299	2,045,452	B	現在は新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数はコロナ禍前よりは減少傾向にあるが、施設は地域住民の貴重な交流の場の一つであるため、今後も適切に管理していく。	B	利用人数は減少傾向にあるが、コロナ禍以前の利用人数を目標とし、利用促進を図るため、適切な管理に努める。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉の体制づくりと活動を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の第5類感染症移行により中止となった事業が再開されるなど、地域福祉活動拠点である総合福祉会館の利用者は回復傾向にある。今後も継続して、各施策を実施することで地域福祉力を維持していく必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
生きがい交流センター管理運営事業	長寿福祉室	1,557,098	30,361,239	31,918,337	B	現在は新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数はコロナ禍前よりは減少傾向にあるが、高齢者の心身の健康被害を防ぐためにも、より利用者のニーズに合った講座の実施等により、適切に管理運営をしていく。	B	コロナ禍以前の年間利用者数に戻すことを目指し、より利用者のニーズに合った講座実施に向けて、緻密な年間計画を立てるなど、生きがい交流センターの管理者と連携を図る。
構成事務事業名 (評価対象外)	戦没者遺族等援護事業、更生保護活動補助事業、民生児童委員運営事業、社会福祉協議会活動事業（社会福祉）、老人福祉センター管理事業、社会福祉総務費事務経費（社会福祉）、社会福祉法人指導監査事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉のセーフティネットを推進する		施策の総合評価	B	課題方向性	物価高騰の影響により生活困窮者が増加すると見込まれるため、今後も的確な相談指導により、適正・適格な各制度の運用を実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
行路困窮者取扱事業	社会福祉課	1,167,823	16,500	1,184,323	B	今後も一定数が見込まれる行路困窮者への救済措置は必要であり、現状のまま継続とする。	B	行路困窮者への一定の救済措置は必要である。
災害見舞事業	社会福祉課	648,791	200,000	848,791	B	自然災害被災者への第一次支援は市として実施すべきである。	B	自然災害被災直後の生活支援は継続して実施していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	生活保護受給者就労支援事業、生活困窮者自立相談支援事業、行旅死亡人取扱事業、生活保護適正実施推進事業、生活保護事業、生活保護総務費事務経費							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 障害のある人が安心して暮らせるまちづくり
 ①地域生活支援の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	社会参加を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	基幹相談支援センターにおいては相談件数が増加しており、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害の種別やニーズに対応できるよう、総合的かつ専門的な支援を行うことができるよう、機能の充実を図る。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
成年後見制度 利用支援事業	社会福祉課	908,307	340,000	1,248,307	B	成年後見制度は、親族等がいない障害のある人が、安心して本人らしい生活が続けられるよう、権利を守り、支援するために必要な制度である。引き続き、関係機関と連携を図りながら、啓発活動及び理解促進を行う。	B	関係機関等との連携により、後見人が必要と思われる人の申立てを行うことができている。引き続き、他の障害福祉サービスの利用状況や相談機関等との連携を図るとともに、継続的な啓発活動に取り組む。
障害者団体等 補助事業	社会福祉課	324,395	1,350,000	1,674,395	B	障害のある人の社会参加や自立した生活の促進のため、当事者やその家族等の団体は障害者福祉の向上のために重要な役割を担っており、引き続き、各団体の活動を支援する。	B	各団体の自主的活動や理解促進事業の発展のための補助であり、安定的な活動の継続には、継続することが望ましい。
矢野あいあい センター管理 事業	社会福祉課	259,516	627,572	887,088	C	地域における福祉活動と障害者自立支援の活動拠点を担う施設として、安全確保に努めながら継続して事業を実施する。今後は、地域の福祉活動の場としても利用促進に努める。	C	老朽化による変状が顕在化しつつあるが、安全確保に努め状況を注視しながら事業を実施する。障害のある人の日中活動の場としてだけでなく、目的の一つである交流の場としての活用の仕方を検討する。
構成事務事業名 (評価対象外)	障害者地域生活支援事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	障害のある子どもが対象となるサービスのニーズが高まっており、適切にサービス提供が行えるよう教育機関と療育・相談支援機関等との連携強化を図り、確実な支援を行う。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
重症心身障害者福祉年金支給事業	社会福祉課	908,307	15,379,200	16,287,507	G	現行事業の効果を改めて検証した上で、廃止も視野に入れた見直しを検討していく。	G	障害年金制度が創設される以前から、重度の障害のある人の経済的負担の軽減や生活向上を目的として実施されてきたが、様々な障害福祉施策が実施されている現状や支給額を考慮すると、事業の有効性そのものが薄れてしまっている状況にある。今後は対象者の状況を調査し、制度の見直しを検討する。
身体障害者福祉基金事業	社会福祉課	259,516	479,600	739,116	C	近年、実績がない状態が続いている。制度を必要とする人に情報が行き届くよう、制度周知を徹底する。また、基金の活用方法についての見直しが必要である。	C	福祉の増進を図ることを目的とし、身体に障害のある人の移動手段の拡大と経済的負担の軽減につなげる事業であるが、実績なしが続いているため、近隣の状況も加味しながら制度内容の見直しも必要である。
心身障害児就学奨励金支給事業	社会福祉課	324,395	564,000	888,395	B	障害児世帯の経済的負担軽減及び障害児の就学委員会の確保の観点から本事業の継続は必須である。	B	子どもたちが安定した学校生活を送るための一助となっており、引き続き関係機関と連携することで、対象者を的確に把握し、適正な執行を行う。
心身障害者扶養共済制度施行事業	社会福祉課	259,516	4,094	263,610	B	現在の対象者には、引き続き適正な執行に努め、扶養共済制度及び該当助成事業について、周知を行う。	B	近年受給者数が少ないため、障害のある人の保護者に共済制度及び該当助成事業の周知を行う必要がある。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	障害のある子どもが対象となるサービスのニーズ高まっており、適切にサービス提供が行えるよう教育機関と療育・相談支援機関等との連携強化を図り、確実な支援を行う。			
			B	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
心身障害児(者) 歯科診療事業	社会福祉課	194,637	3,057,000	3,251,637	B	障害のある人の歯科診療の機会を確保するために、事業継続すべきである。	B	一般の歯科医院を治療を受けることが困難な障害のある子ども等が、適切な歯科診療を受けることができるよう、支援を継続する。	
在宅重度心身障害者(児)等福祉事業	社会福祉課	374,414	558,570	932,984	C	障害のある人の移動手段を確保し、行動範囲の拡大をのぞめる事業であり、社会参加の促進につながるため、継続とする。一方で、外の移動手段のニーズがないかなど、本当に必要とする支援が何であるかの検討は必要である。	C	タクシーの利用助成を図ることは、障害のある人の移動手段の確保や行動範囲の拡大、社会参加の促進において一定の効果があると考える。一方で、利用券の枚数や助成対象などについては改善の余地がないか検証の必要がある。	
軽・中度難聴児補聴器購入費助成事業	社会福祉課	194,637	152,610	347,247	B	軽・中度難聴児の補聴器装用に係る他の助成制度はなく、早期治療の観点からも、本制度は有効である。引き続き、関係機関と連携し、制度の周知を図る。	B	補聴器の装用により、言語の習得、教育等における健全な発達を支援するものであり、現状のまま継続する。対象者の把握が困難であるが、引き続き学校等と連携し、制度周知を図る。	
障害者等住宅改造事業	社会福祉課	194,637	720,000	914,637	B	障害のある人の経済的負担の軽減及び居宅生活移行促進のためにも継続実施とする。	B	住み慣れた住宅での生活を希望する障害のある人が、住宅改造により自立した生活を送ることの一助となる制度である。制度を必要とする人に情報が行き届くよう、引き続き制度周知を行い事業を実施する。	

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	障害のある子どもが対象となるサービスのニーズ高まっており、適切にサービス提供が行えるよう教育機関と療育・相談支援機関等との連携強化を図り、確実な支援を行う。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
野の草園管理事業	社会福祉課	1,038,065	1,119,800	2,157,865	B	障害のある人の日中活動を支援する施設であり、市の障害者福祉の増進に寄与する施設である。施設の安全性が保ち、利用者が安心安全に利用できるよう、指定管理者と協議しながら適正な運営管理に努める。	B	指定管理者により、専門性を活かした高いサービスが提供されている。また施設の安全確保に努め状況を注視しながら、適正な維持修繕等を行う。
構成事務事業名 (評価対象外)	障害者自立支援事業、特別障害者手当等支給事業、重度心身障害者（児）介護手当支給事業、障害福祉計画等策定事業、障害児通所給付支給事業、障害者福祉費事務経費							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(3) 子育てしやすいまちづくり
 ①子育て環境の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	母子保健対策を推進する		施策の総合評価		課題 方向性	多岐にわたる子育て世代の相談内容に応じ、各関係部署及び関係機関と連携することにより、相談内容を解消することができた。引き続き体制を維持し、必要な支援を適切に行っていく。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
妊活カップル 応援事業	子育て元気課	350,939	3,144,415	3,495,354	B	高度な不妊治療に要する費用を一部助成することで、赤ちゃんの誕生を望む家庭の積極的な治療を応援し、妊娠数の増加につなげるため、継続実施していく。	B	助成対象市民へ医療機関から県及び市の助成制度について周知されており、関係機関との連携によりサービスは定着している。引き続き、必要とする者が当該制度を利用できるよう啓発を行うとともに、関係機関と更に連携しながら事業を実施する。
妊婦歯科健康 診査実施事業	子育て元気課	305,523	153,000	458,523	B	妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上につながることから、継続実施していく。	B	妊娠中の歯科健診の重要性を伝え、受診しやすい環境を整えることで妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上につながる。妊娠届出時の同時交付で全妊婦へ直接対応できており効率的である。受診率向上へ向けて取り組み内容を検討し、今後も継続実施する。
子育て世代包 括支援セン ター事業	子育て元気課	6,014,553	13,394,491	19,409,044	B	妊娠届出時にきめ細かな面談を行うことにより、妊娠期、出産、子育て期とそのステージに応じた対応等を行うことができている。今後も安心して子育てができるよう寄り添った支援を引き続き実施していく。	B	妊娠初期から母子健康手帳交付の面接にて妊婦の状況の把握に努め、早期から情報共有を行うことで、継続した支援を行うことができている。妊娠8ヶ月でも情報把握に努めることで、産後も関係を築ききっかけとなり、切れ目ない支援につながっている。
構成事務事業名 (評価対象外)	育児等健康支援事業、妊婦健康診査等補助事業、母子保健相談指導事業、乳幼児健康診査等事業、未熟児養育医療給付事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもへの虐待防止対策を推進する		施策の総合評価	B	課題方向性	関係機関との連携により、支援が必要な家庭の早期発見・早期対応を行えた。また、育児期における親の孤立感を軽減し、育児不安を解消するとともに、虐待を未然に防止するため、2歳児家庭を訪問することで、要支援家庭等を早期に発見し、関係機関と連携し必要なサービスにつなげることができた。引き続き、支援が必要な家庭の早期発見・早期対応に努めていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
子育て家庭支援訪問事業	子育て元気課	389,274	588,000	977,274	B	支援が必要な家庭を的確に発見し、必要なサービスや機関につなげるため、引き続き実施していく。	B	家庭環境や時代背景などにより多種多様な相談が増加しており、関係機関と更なる連携が必要である。
家庭児童相談室運営事業	子育て元気課	1,288,162	275,244	1,563,406	C	児童虐待の防止や支援を必要とする家庭のための重要な窓口として、引き続き保護者等からの相談を受け、関係機関との連携を更に強化する。 令和7年度より、子ども家庭総合支援拠点と子育て包括支援センターの機能を併せ持つこども家庭センターの設置を目指す。	C	家庭環境や時代背景などにより、多種多様な相談が増加しており、子育て世代包括支援センター（母子保健）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関（こども家庭センター）の設置を目指す。
構成事務事業名 (評価対象外)	要保護児童対策事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ひとり親家庭などの自立を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	ひとり親家庭の自立において、子育てにかかる相談業務や資格取得の補助は重要であるため引き続き事業を実施していく。					
			担当部	健康福祉部							
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価			
					方向性	所見		方向性	所見		
社会福祉総務費事務経費(子育て)	子育て元気課	129,758	50,000	179,758	B	母子家庭や寡婦等の情報交換等の場として引き続き実施していく。		B	母子家庭や寡婦等の情報交換等の場として必要であり、広報等により更なるPRが必要である。		
交通遺児激励事業	子育て元気課	64,879	26,970	91,849	B	交通遺児が新たに発生することは喜ばしいことではないが、新たに発生した場合には激励金を速やかに支給することで、引き続き対象児童及びその家庭の経済的支援を行う。		B	基金事業であるため、継続し実施していくとともに、学校側に協力してもらい、対象者の把握に努める必要がある。		
母子家庭等自立支援給付金事業	子育て元気課	579,202	0	579,202	B	ひとり親家庭の就業を促進し自立を促す。		B	母子・父子自立支援員の就労相談や児童扶養手当の現況届け提出時の就労状況の確認等、当該事業の活用に関わり体制を構築し、引き続き母子・父子家庭の母及び父の就労支援を促進する。		
構成事業事業名 (評価対象外)	母子父子福祉費事務経費										

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②子どもの健やかな発育の支援

取り組み事項	多様な保育サービスの充実を図る		施策の総合評価	C		課題方向性	保育士確保や保護者の経済的負担軽減のため引き続き適切に事業を実施していく。	
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
利用者負担額補助事業	子育て元気課	778,549	2,853,100	3,631,649	B	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。	B	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。
保育士等就業支援事業	子育て元気課	259,516	820,000	1,079,516	C	事業の周知を徹底することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。	C	引き続き事業を実施することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。公立保育所の保育士不足が深刻である為、新たな保育士確保対策を検討していく。
副食費補助事業	子育て元気課	778,549	6,813,890	7,592,439	B	引き続き実施することで、保護者の経済的負担軽減を図る。	B	保育料無償化の対象とならない副食費部分を補助することで、効果的な補助を実施出来ている。
構成事務事業名 (評価対象外)	保育所管理運営委託事業、保育所等運営事業、特別保育補助事業、保育所施設整備事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	各種事業について、新型コロナウイルス感染症以降減少傾向ではあるものの、子育て中の保護者の交流の場や、家庭や地域の子育て力の向上、出産に対する祝福など、重要な事業であるため、引き続き実施していく。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
子育て情報提供事業	子育て元気課	778,549	396,951	1,175,500	B	子育て家庭の支援を図るため、引き続き適切に子育て関連の情報提供等を実施していく。	B	引き続き事業を継続していくことで、子育て中の親に仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点や子育て関連情報の提供を行い、子育て支援を推進する。
子育て学習活動推進事業	子育て元気課	4,073,864	892,207	4,966,071	B	地域の子育て拠点として市の中心的な役割を果たしており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。	B	引き続き継続していくことで、地域子育て支援拠点として親子の交流促進の場となり、育児等の不安解消を図る。
修学旅行援助事業	子育て元気課	64,879	91,000	155,879	B	適切に対象者に支給が出来ており、引き続き現在の体制を維持し実施していく。	B	要保護、準要保護世帯の児童が安心して修学旅行に参加できる環境を整えるため、現在の支給額等を維持し、引き続き支援を実施していく。
子供の遊び場等設置補助事業	子育て元気課	194,637	38,599	233,236	B	有効的に事業を活用してもらうため、自治会等に制度周知を行い、引き続き実施していく。	B	自治会等に対し制度周知を行い、子どもの遊び場の確保のため引き続き実施していく。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	各種事業について、新型コロナウイルス感染症以降減少傾向ではあるものの、子育て中の保護者の交流の場や、家庭や地域の子育て力の向上、出産に対する祝福など、重要な事業であるため、引き続き実施していく。					
			担当部	健康福祉部		施策からみた評価			事業単独でみた評価		
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	方向性	所見	方向性	所見			
ファミリーサポートセンター事業	子育て元気課	2,990,367	471,060	3,461,427	B	仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行い、引き続き保護者等や児童の福祉の増進を図る。	B	引き続き事業を継続していくことで、仕事と育児を両立できる環境の整備や地域子育て支援を行うことで、保護者等及び児童の福祉の増進を図る。			
子育て応援券交付事業	子育て元気課	484,238	2,242,670	2,726,908	C	より効果の高い事業とするため、利用できるサービスの見直しを含め、事業の在り方を検討する。	C	利用できるサービスの見直しを含め、事業の在り方を検討していく必要がある。			
出産祝金支給事業	子育て元気課	973,308	12,092,944	13,066,252	B	2号祝金については、市全体の子育て支援対策を見直し・検討し、令和5年4月1日以降に第三子を出生した場合の第2号祝金の支給は廃止したが、引き続き出生児誕生世帯を祝うことで定住を促進していく。	D	1号祝金、2号祝金とも適切に支給出来ている。令和5年4月以降出生分の2号祝金は廃止された為、事業の在り方について検討が必要。			
構成事務事業名 (評価対象外)	社会福祉協議会活動事業（子育て）、児童手当等支給事業、子ども・子育て支援事業、児童福祉総務費事務経費、児童手当等支給事務事業										

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(4) 健康に暮らせるまちづくり
 ①地域医療の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域医療体制を充実させる		施策の総合評価	B	課題 方向性	一次救急の受け入れ先がなくなれば、二次救急、三次救急への圧迫等影響があるため、このまま体制を維持する。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	救急医療施設運営事業、保健衛生総務費事務経費								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域医療に貢献できる人を育成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	入学試験の出願者数は前年度より37人、34.3%の減となった。 また、卒業生35人のうち31人が看護師国家試験に合格し、35人全員が医療機関に就職した。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
看護専門学校 運営事業	看護専門学校	73,384,201	273,207,047	346,591,248	B	看護師国家試験の合格率は、全国平均を超える高い合格率を維持しているが、令和5年度においては4名が不合格となっており、全員合格に向け継続して国家試験対策に取り組んでいく。 現在、令和8年度の運用開始に向け、校舎の建替え事業を進めており、校舎更新による教育環境の向上により受験生への訴求力を高めていく。	B	看護師国家試験の合格率は高い水準を維持しているが、出願者は平成25年度をピークに減少傾向にある。 優秀な学生確保の対策として、入試制度の改革やオープンキャンパスの拡充等に引き続き取り組むとともに、新校舎建設事業を円滑に進め、教育環境の向上を図る。	

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	安定した市民病院運営を行う		施策の総合評価	C	課題 方向性	患者の減少により医業収益が減少したため、資金不足が生じ、一般会計から繰入金の追加を行った。今後、地域連携室が中心となって、地域の医療機関や診療所、介護施設、ケアマネ等の関係機関と連携し、地域で医療を必要とする患者の受け皿となり、患者の確保を行うことで経営改善を行っていきたい。			
			担当部	市民病院					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)									

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②健康づくりと予防対策の推進

取り組み事項	健康づくり意識を醸成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、実施方法等の工夫を行い、引き続き健康づくりと予防対策を進める。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
健康づくり推進事業	子育て元気課	2,550,341	1,645,938	4,196,279	B	健康への意識を高めるためにも、周知方法等の見直しを行い、生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査等、他事業や他課と協力して受診者の増加を図る。	C	受診者数が減少しているが、若年期からの健康維持は今後も重要であるため、周知方法等の見直しを行いながら、他事業や他課と協力して受診者増加につなげる。	
健康ポイント制度事業	子育て元気課	354,357	416,990	771,347	B	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツ等の工夫を行い、特に若年、中年層の参加者の増加を図り、引き続き健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を図る。	C	アンケート結果から参加者は65歳以上が約9割を占め、中年・若年層の参加が少ないことがわかった。今後も継続して効果的な普及・啓発ができるようアプリの活用も視野に入れ、工夫をしていく。	
構成事務事業名 (評価対象外)	がん患者QOL支援事業、保健対策推進事業、後期高齢者健康増進事業、健康増進事業、食育推進事業、特定健診・特定保健指導事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	感染症などの予防を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	感染症を予防するには、予防接種により市民全体の免疫水準を維持し一定の接種率を確保することが重要である。そのため、通年による予防接種機会の確保を図り、継続して事業を進める。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	予防接種事業、感染症予防事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(5) 高齢者がいきいきと暮せるまちづくり
 ①日常生活支援の充実

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	高齢者ができる限り住み慣れた地域で安全安心に生活できるよう必要な在宅サービスを常に検討する必要がある。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
敬老事業	長寿福祉室	3,179,076	4,913,853	8,092,929	D	高齢者に生きがいを与える事業ではあるが、今後も事業内容については、社会情勢や近隣市町の動向を注視し、検討していく必要がある。	D	敬老事業は対象者及びその家族からは大変喜ばれている。市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらい、高齢者の方に生きがいを持っていただくことができている。しかし、平均寿命が伸び、対象者が増加する中、再度見直しの必要性がある。
高年クラブ等 社会活動促進 事業	長寿福祉室	1,557,098	2,648,824	4,205,922	B	後期高齢者の増加に伴い、会員数は減少傾向にあるが、地域の活動の場やつながりの場としての機能は、活動している地域では有効であるため、引き続き加入促進を図り、活動の支援を図っていく。	B	会員数が減少傾向にあるので、閉じこもりがちな高齢者、団塊世代の比較的若い層の方々に高年クラブの活動に参加、体験したいと思うような活動内容、広報手段を新たに考え、加入促進を図っていく。
しあわせ基金 事業	長寿福祉室	1,102,944	1,357,000	2,459,944	B	高齢者の在宅福祉の向上及び健康づくりの推進に寄与するための事業に適切に支出できるよう、適宜事業を見直しながら基金事業を組み立てていく。	B	基金事業を見直す会議等において、事業内容などを精査して、よりよい事業内容に基金を支出できるよう改善を図る。移送サービスについては、今後また周知方法などについて社協と連携を図りながら事業を進めていく必要がある。
老人短期入所 運営事業	長寿福祉室	389,274	56,720	445,994	B	虐待による緊急的な措置としても必要不可欠な事業である。介護報酬の見直しと同時に委託料の見直しが必要である。	B	養護老人ホームが満床である場合には事業実施は難しいが、虐待案件などの緊急性がある場合に必要事業である。高齢者の安心安全また健康的な生活のためには必要な制度である。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	高齢者ができる限り住み慣れた地域で安全安心に生活できるよう必要な在宅サービスを常に検討する必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
高齢者等住宅 改造助成事業	長寿福祉室	2,724,922	7,633,862	10,358,784	B	県事業の随伴補助であり、事業費の1/2の補てんがあり、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を継続するために必要な事業である。	B	専門職による事前調査により、申請者にとって不要な工事を発見し、未然に不要な給付を防ぐこともあり、効果的で適正な事業実施ができています。
高齢者在宅生活 支援事業	長寿福祉室	2,270,768	1,489,040	3,759,808	B	高齢者の在宅生活を支援していくための施策であるが、今後も社会情勢を鑑みながら事業の見直しを随時していく必要がある。	B	訪問理・美容…事業の利用要件に該当する人が少なく、利用者が少ない状況である。 補聴器購入費助成…市民税課税非課税に関わらず助成を行っている。 シニアスマホ教室事業…スマホの機種や場所などに関わらず受講しやすいよう受講環境を設定している。
アイアイコール 事業	長寿福祉室	648,791	1,856,470	2,505,261	B	在宅生活の安心安全のために一定のニーズはある。	B	利用者が緊急ボタンを押し、救急車で搬送される件数が毎年数件あり、相談連絡等も毎月利用されている方がいる状態である。近隣に緊急補助員のなり手がいないため、遠方の家族が登録されている場合があります課題である。
お元気コール 事業	長寿福祉室	648,791	114,970	763,761	B	新規申込者に関しては、高年クラブの会員による「お元気コール」のみとなり、高年クラブの役割としての効果もある。	B	現在の利用者は週一の連絡を楽しみにされている方が多い。登録者数の増減はほぼない状況である。
構成事務事業名 (評価対象外)	老人保護措置事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②地域包括ケアの推進

取り組み事項	介護予防などを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	それぞれの状況に応じた事業、サービスを提供することで、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう努めている。今後はさらなる効果が得られるよう、事業等を見直しながら取り組んでいく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
通いの場運営 支援事業	長寿福祉室	2,270,768	0	2,270,768	E	令和6年3月31日までを事業実施期間としており、データ収集及び分析の実施も行ったため事業は廃止とする。得られた分析結果を元に今後の介護予防事業の実施方法の検討を行っていく。	E	令和6年3月31日までを事業実施期間としており、データ収集及び分析の実施も行った。得られた分析結果を元に今後の介護予防事業の実施方法の検討を行っていく。
高齢者保健事業・介護予防等一体的事業	子育て元気課	2,919,559	612,352	3,531,911	B	後期高齢者に対し、健康寿命の延伸に向けた個別又は集団への支援は、継続的・定期的を実施していく必要がある。	B	高齢者一人一人が自身の健康の保持増進・介護予防へ関心を持ち、取り組みにつながるよう、継続して普及啓発や保健指導を実施していく必要がある。
地域介護予防活動支援事業	長寿福祉室	2,335,647	0	2,335,647	B	いきいき百歳体操の参加者増加のため、積極的な周知が必要である。実施方法や事業の効果説明を行い、要支援・要介護状態にならないよう保健師や栄養士等の専門職の健康教育の実施等、他の介護予防事業や関係機関と連携を図りながら高齢者がいきいきと暮らせるよう支援策を検討する。	B	いきいき百歳体操の参加者の増加に向け積極的な周知や参加者が要支援・要介護状態にならないよう健康教育等が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	介護予防普及啓発事業、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防把握事業、介護保険事業、介護保険事業、介護保険事業、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防・生活支援サービス事業、高額介護予防サービス費相当事業、高額医療合算介護予防サービス費相当事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生活支援のサービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	生活支援の充実を図るため、効果的な施策である。周知・啓発等に取り組み、さらなる効果を図っていく。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
家族介護用品 支給事業	長寿福祉室	194,637	840,865	1,035,502	B	寝たきり高齢者等を在宅で介護している家族の経済的・精神的負担の軽減を図ることができており、継続して実施する。	B	利用者が少なく認知度も低いため、ケアマネジャーや民生委員等へ引き続き周知していく。
家族介護慰労 金支給事業	長寿福祉室	129,758	0	129,758	E	介護保険制度が発足して間もない事業開始時と現在では状況が異なり、サービス量は十分あり、慰労金としての金銭的負担軽減より介護する身体・心理的負担の方が大きい。介護の大変なご家族に対しては慰労金を勧めるより、介護保険制度を適切に使っていただくよう勧める方針である。	E	要介護4相当以上の者で、介護サービスを利用していないという条件に該当する人はかなり少ない状況である。
成年後見制度 利用支援事業	長寿福祉室	454,153	49,380	503,533	B	経済的な理由などにより制度が利用できていない方の救済を行うために必要であり、継続して実施する必要がある。	B	後見制度利用の必要があっても、申立ができない方や、経済的な理由などで制度利用ができない方を救済できるため必要な事業である。
認知症高齢者 サポート事業	長寿福祉室	1,492,219	404,695	1,896,914	B	認知症への正しい理解や対応のためには、認知症サポーター及びキャラバン・メイトの養成は不可欠であることから、継続して実施する。	B	キャラバン・メイト希望者には近隣や県の研修に受講を案内し、メイトの数も増えている。認知症サポーター養成と合わせ、キャラバン・メイトの養成も事業として必要不可欠である。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生活支援のサービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	生活支援の充実を図るため、効果的な施策である。周知・啓発等に取り組み、さらなる効果を図っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
高齢者見守り事業	長寿福祉室	1,102,944	234,590	1,337,534	B	高齢者等の安全安心な在宅生活のために、協力機関、地域及び関係機関と連携した見守りは必要不可欠であるため、継続して実施する。	B	新規の協力機関獲得のため、事業の周知に努める必要がある。今後も地域と連携し、ひとり歩き高齢者に対して安全・安心の確保に努める。
構成事務事業名 (評価対象外)	包括的支援事業、市民後見推進事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	福祉医療の充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	福祉医療制度を充実させることで、助成対象者等にかかる負担の軽減に効果が出ているものと考えている。疾病の早期発見、早期治療等により健康を保持し、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努める必要がある。			
			B	担当部			市民生活部		
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
乳幼児等医療費助成事業	市民課	1,038,065	63,269,634	64,307,699	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、乳幼児等の保護者等に対し、引き続き、子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努める必要がある。	B	今後も県の補助金を受けて事業を実施し、補助金交付対象外の世帯にも市の単独事業により引き続き実施する。また、適正な受診を啓発し、助成金額の節減に努める。	
こども医療費助成事業	市民課	1,038,065	49,826,571	50,864,636	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、子どもの保護者等に対し、引き続き、子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努める必要がある。	B	今後も県の補助金を受けて事業を実施し、補助金交付対象外の世帯にも市の単独事業により引き続き実施する。また、適正な受診を啓発し、助成金額の節減に努める。	
自立支援等医療費助成事業	市民課	973,186	70,450	1,043,636	B	疾病の早期治療、継続治療により健康を保持できるよう、乳幼児等の保護者等に対し、引き続き、子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努める必要がある。	B	他の公費負担医療が優先適用され、福祉医療制度の対象とはならない、乳幼児等及び子どもの医療費の他公費助成後の自己負担額の全部を助成し、乳幼児等医療費助成対象者及びこども医療費助成対象者との公平性を確保する。	
鍼灸マッサージ治療費助成事業	市民課	494,266	1,511,000	2,005,266	B	疾病の早期治療、継続治療により健康を保持できるよう、対象者に対し、引き続き、負担の軽減を行い、市民が安心して施術を受けることができる環境づくりに努める必要がある。	B	対象年齢人口に占める申請者数の割合は減少している。社会的公平を図る観点、当該事業の担う役割及び本市の財政事情等を踏まえ、事業の方向性を検討する。	
構成事務事業名 (評価対象外)	母子家庭等医療費給付事業、高齢期移行者医療費助成事業、高齢重度障害者医療費助成事業、重度障害者医療費助成事業、福祉医療費一般事務経費								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 活気のあるまちづくり

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

①安心して生活できる環境の整備

取り組み事項	空家等対策を推進する		施策の総合評価	A	課題 方向性	空家等対策計画に基づき空家の利活用や適正管理について65件の啓発を行った。 空家所有者へ適正な管理を促すため西播磨暮らしサポートセンターや宅建協会と連携し対応を行う。 国や県の除却や活用の補助金を活用することにより、空家所有者の負担の軽減を図り、除却をはじめとした適正管理を促す。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
空家等対策事業	地域振興課	5,138,425	9,650,176	14,788,601	B	地域の安全安心を守るため空家等対策を推進することは必要である。	B	市民の安全・安心を守るため老朽危険空家の除却、管理不全空家の解消、優良空家の利活用の推進を行うことは必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公共交通の利便性向上を図る		施策の総合評価	D	課題 方向性	地域乗合タクシーやタクシー振興事業といった市民の外出支援を図ることで、市民の外出支援を行う。また、外出を促すことにより路線バス利用者の活性化も目指していく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
地方バス路線 維持補助事業	地域振興課	1,427,340	10,000,000	11,427,340	B	コロナ禍による生活様式の変更や運転手不足により赤字額は増加傾向にあるため、運行維持を行うために補助額の増額も含めた検討が必要になってくると思われる。	C	生活様式の変化や運転手不足により、従来より赤字額の拡大が見られるため、路線バス維持のための補助額の精査を行うことで、路線の維持に努めていく。
生活交通システム事業	地域振興課	1,440,316	3,768,123	5,208,439	C	デマンドタクシーにおいては、利用者の固定化が見られるため、より多くの方が利用しやすい移動支援サービスを検討する必要があると思われる。	C	デマンドタクシーは利用者の固定化が見られるため、より多くの方に利用してもらえるよう事業内容を見直した上で、別事業も含めた交通弱者事業の検討も必要となってくる。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②市民の協働によるまちづくりの推進

取り組み事項	地域コミュニティ活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	コミュニティの活性化には各団体の活動を支援しながら、継続的に活動できるよう必要な施策を検討する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
消費者行政推進事業	地域振興課	5,822,409	733,639	6,556,048	B	消費生活相談は毎年多くの相談を受けており事業継続は必要である。	B	スマートフォンの普及等によりネットトラブルは高齢者においても増加傾向であり、消費生活団体をはじめとした多団体と連携して、消費者への啓発を強化していくことが必要である。
緑化推進事業	地域振興課	2,094,108	905,998	3,000,106	B	緑化推進には地域団体の積極的な活動が必要であるため事業継続は必要である。	B	各団体において花壇等の管理をしていただき、緑化意識の啓発をすることができた。
コミュニティ推進事業	地域振興課	1,144,243	168,075	1,312,318	B	地域団体の活動において夏祭りなどのイベントをすることはコミュニティの活性化に必要であり事業継続は必要である。	B	新型コロナウイルスの終息に伴い、地区活動の再開が見られるため、コミュニティ備品に関する貸出利用を周知することにより、地区活動の活性化を図っていく。
地域自治支援事業	地域振興課	2,389,463	17,828,324	20,217,787	B	地域問題の解決を行うための主な団体として自治会は必要不可欠であり事業継続は必要である。	B	自治会の組織の弱体化が進む地域もあり、地域課題の解決に取り組めるよう支援するとともに地域コミュニティの活性化を促進する必要がある。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域コミュニティ活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	コミュニティの活性化には各団体の活動を支援しながら、継続的に活動できるよう必要な施策を検討する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
集会所等設置 費助成事業	地域振興課	730,656	4,660,000	5,390,656	B	自治会を維持するための拠点である集会所の整備や改善の支援を行い、自治会活動の活性化を図るために事業継続は必要である。	B	適時、集会所の改修等を行うことで施設の延命化が図られている。
佐方福祉センター 管理事業	環境課	454,153	1,571,100	2,025,253	B	多様なコミュニティ活動の場として住民の福祉に寄与しており、事業継続は必要である。	B	新たに美化センターを建て替える際の将来的な位置付けについて検討する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	相生市総合補償保険事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	男女共同参画社会の実現に努める		施策の総合評価	B		課題 方向性	市民啓発グループのリーダーが担い手不足となっており、事業が縮小傾向にある。そのため、新規会員の募集を継続して行っていく必要がある。		
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見		方向性	所見
いきいき男女 共生事業	地域振興課	4,152,263	690,180	4,842,443	B	性別に関わらず市民が興味を示すセミナーなどの開催や、市民啓発グループの新規会員の継続した募集などの問題もあるが、男女共同参画の意識啓発のために事業継続は必要である。		B	市民活動グループとの協働によりセミナー等の円滑な実施ができています。 相生市男女共同参画センターについては、有効活用を図る必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③まちのにぎわいの創出

取り組み事項	就労環境の充実を図る		施策の総合評価	B		課題 方向性	就労支援については継続した取り組みを行うことで地元就職者の増加を目指す。	
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
就労促進事業	地域振興課	784,541	741,520	1,526,061	A	地域活性化を図る上では若年者の地元就職支援への取り組みは必要であり、新規施策を展開しながら実施する。	C	就労機会の確保や雇用の安定を図るためには必要な施策である。奨学金返還制度を設ける事業所を増やすため積極的に企業に働きかけを行いながら、有効性を高める必要がある。また、インターンシップについて市内の受入れ先を増やし引き続き市内企業への就労に結びつくように改善を行いながら、より充実した就労促進事業を継続し就労環境の構築を図る。
労働者福祉事業	地域振興課	395,266	384,000	779,266	B	労働者の福祉活動向上のため、継続して実施する。	B	労働者の福祉活動の向上のため、本協議会の活動への助成を維持していく。
勤労者住宅資金融資事業	地域振興課	263,526	5,000,000	5,263,526	C	金融機関独自の住宅融資が低金利なため、本制度の有利な点がない。金融市場の動向をみながら制度を検証する。	C	既存利用者への対応をとりながら、制度の見直しを検討していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	シルバー人材センター育成事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価		課題 方向性	地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。			
			B	担当部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
商工業対策事業	地域振興課	523,043	305,000	828,043	B	市内特産品等を効率的にPRしていくため、継続して実施する。	B	市が単独で実施するよりも効率的、効果的に特産品等のPRが出来ている。しかし、市内特産品の取扱件数が少ないため、製造・販売者へ更に周知していく必要がある。	
地域振興事業	地域振興課	5,070,079	97,653,371	102,723,450	B	新型コロナウイルス感染症が収束しつつあるが、引き続き市内商工業者の状況を注視し、必要な支援を行っていく必要がある。	B	物価高騰等の影響が長引く中で、引き続き事業者等の状況把握に努め、国・県の動向にも注視し、様々な観点から必要とされる支援策を実施していく必要がある。	
商店街活性化事業	地域振興課	1,451,310	2,998,000	4,449,310	B	商店街空き店舗の情報を更新・活用することで、商店街の活性化を図るためにも継続して実施する。	B	新規創業希望者への創業支援や商店街の活性化のため、空き店舗バンクの更新については継続して実施していく。	
商工会議所振興事業	地域振興課	337,371	6,071,000	6,408,371	B	市の商工業の活性化を図る上では、相生商工会議所との連携が必要であり、継続して実施する。	B	相生商工会議所と連携して商工業の振興を図るため、今後も継続して助成していく。	

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
創業支援事業	地域振興課	648,791	502,680	1,151,471	B	商店街空き店舗助成との連携により、効果的な取り組みが行えており、継続して実施する。	B	創業相談の実施や空き店舗助成の活用により新規創業につなげることができている。また、創業相談者が創業塾を受講することでより安心して確実な創業への取り組みを行うことが実現できている。
匠の技（造船技術）継承事業	地域振興課	109,798	200,000	309,798	C	伝統技能継承に係る本事業のPRを更に行った上で、継続して実施する。	C	研修の内容や活動実績について、企業以外にも広報紙等で市民に広くPRを行い、伝統技能継承に携わる本協議会の活動内容の充実化を図る必要がある。
中小企業小額資金融資事業	地域振興課	173,686	150,000	323,686	B	今後の状況を注視しながら継続して実施する。	B	国や県の有利な融資制度と本制度のバランスを検証し、今後物価高騰などによる苦しい立場にある市内中小企業者への支援制度として継続して実施する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	計量推進事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

④地域資源を活かした観光の振興

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価		課題 方向性	相生ペーロン祭では4年ぶりに前夜祭花火大会を実施した。また、羅漢の里もみじまつり、かきまつりを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。		
			B					
		担当部		市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
中学生ペーロン推進事業	地域振興課	129,758	600,000	729,758	B	相生ペーロンの伝統文化継承のためにも将来の担い手を育成する事業として継続して実施する。	B	これまでの長い歴史の中で継承されてきたノウハウをベースに、より安全かつ円滑に進めていくことが求められる。
海洋訓練教室推進事業	地域振興課	181,661	758,809	940,470	C	B&G海洋クラブの活動とペーロンを融合する取り組みを検討し、実施する。	C	相生ペーロン海館を活用してペーロンと連携した活動を行うなど、海洋スポーツの普及のみならず、文化伝統の継承を視野に入れ、相生湾臨海部の活性化を図っていく。
観光協会推進事業	地域振興課	2,052,258	2,950,000	5,002,258	B	相生市の観光振興を推進するため、継続して相生市観光協会と連携して実施していく。	B	相生市の観光振興を推進する上では継続して観光協会の活動を支援していく必要がある。
相生ペーロン祭事業	地域振興課	6,727,045	14,550,000	21,277,045	C	相生市の伝統文化である相生ペーロンを普及・推進していくためにも継続して実施する。	C	4年ぶりの通常開催となったが、適切に事業が完了した。物価高騰の中、持続した祭の運営ができるように運営方法の見直しなど大幅な改革が必要である。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価		課題 方向性	相生ペーロン祭では4年ぶりに前夜祭花火大会を実施した。また、羅漢の里もみじまつり、かきまつりを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。		
			B					
		担当部		市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
羅漢の里もみじまつり事業	地域振興課	4,012,597	1,900,000	5,912,597	C	相生市の山側の観光資源をPRする場として、地元と協力しながら継続して実施する。	B	羅漢の里や感状山など相生市の観光資源をアピールする場でもあり、地元の理解協力のもと、今後も地域活性化のために創意工夫しながら、もみじまつりを継続実施する必要がある。
相生かきまつり事業	地域振興課	2,563,316	666,000	3,229,316	C	相生市の最大の特産品である「相生かき」を広く全国的にPRするイベントとして継続して実施する。	C	かきまつりとして実施できたことは、かきのPRイベントとして成功であった。今後も近隣自治体のかきイベントの状況等を見ながら適切な形で実施していく。
相生ペーロン振興事業	地域振興課	838,474	550,000	1,388,474	B	相生ペーロンの将来の担い手育成の場として、また、体験型観光プログラムとして重要な観光資源であることから、継続して実施する。	C	コロナの第5類移行後、学校及び一般企業等を中心に体験乗船実施ができています。
ペーロン海館管理事業	地域振興課	259,516	3,456,328	3,715,844	B	相生ペーロンの普及、伝統文化継承の拠点施設として適切に運営していく必要がある。	B	相生ペーロンの更なる振興のため、体験乗船を核とした多様な活用方法を検討しながら継続していく。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生ペーロン祭では4年ぶりに前夜祭花火大会を実施した。また、羅漢の里もみじまつり、かきまつりを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
道の駅管理運営事業	地域振興課	237,575	4,996,217	5,233,792	B	相生市の観光情報の発信拠点であり、一番の観光スポットでもあることから、適切に運営していく必要がある。	C	道の駅は相生市の観光情報の発信拠点だけでなく、それ自体が観光スポットとして市の賑わいづくりに寄与していることから、適正に維持管理をしていき、魅力のある施設として維持していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	観光費事務経費							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	広域観光を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	コロナが第5類へ移行後、インバウンドへの対応を含めた受け入れ体制づくりを検討していく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市観・ 交・商連携型 地域活性化事業	地域振興課	2,375,760	4,072,153	6,447,913	C	広域観光の推進においては、あいおい情報ラウンジを拠点施設として継続的に取り組んでいく必要がある。	C	駅前を拠点として市内全域の活性化を目指す上でも、観光・交通・商業の各関係機関と連携し継続していく必要がある。
ふるさと応援 大使活用事業	地域振興課	866,407	265,889	1,132,296	C	広域的に情報を発信する有効な手段として、活用方法を検討した上で継続して実施する。	C	ふるさと応援大使の任命者の位置付け、役割を整理した上で、より広く市内外に相生市をPR出来るような活用の方法を検討していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(3) 環境にやさしいまちづくり
 ①豊かな自然環境の保全

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	環境汚染防止対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	職員の少ない中、苦情に係る対応について迅速に処理が出来た。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	大気汚染常時監視網管理運営事業、公害行政推進事業、水質汚濁調査運営事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	環境保全活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生湾を中心としたあいおい播磨灘の里海づくりにおいて、子ども達の体験型の自然学習活動等を展開しており、その活動に関わる団体や協力機関が増え、徐々に里海づくり活動の広がりが出てきている。今後はその広がりを継続しながらより多くの市民参加が出来るような活動内容を検討していく。また、脱炭素助成については、企業のニーズを把握し、助成のあり方について研究する。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
環境施策関連 事業	環境課	3,892,746	1,360,546	5,253,292	B	概ね計画通りに進捗している。	C	活動の幅を広げるためには参加者枠を広げる必要もあると思われるが、海での体験活動がメインのため、安全管理面から「里海クラブ」員を20名限定としている。安全に活動を行っていただける方策を研究する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	自然公園管理事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②環境衛生の保持

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価		課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			B	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
リサイクル推進事業	環境課	1,452,349	7,278,435	8,730,784	B	市民のリサイクル推進の場として、十分な役割を果たしており、引き続きニーズなどを見ながら継続して事業を行いたい。	B	資源ごみの売却単価は見積合わせで決定しており、市場価格によるので定額ではないが、資源を有効活用するために、継続して事業を行う必要がある。
ごみ箱等設置補助事業	環境課	259,516	89,000	348,516	B	概ね計画通りに進捗している。	B	地区のごみステーション管理や環境美化、収集の利便性などからも、設置について地元と調整を図りながら補助を行っており、地域的美観確保につながっている。
塵芥収集事業	環境課	122,162,410	60,477,340	182,639,750	B	収集業務の一部民間委託を実施し、収集業務の効率化及びコスト削減に努めている。	B	分別されずごみ出しが行われているステーションがあるので、普及啓発を行う必要がある。
美化センター管理運営事業	環境課	11,658,426	225,310,404	236,968,830	B	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理に努めている。	B	新施設の計画が必要となっている。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価		課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。			
			B	担当部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
最終処分場管理運営事業	環境課	2,869,661	5,795,051	8,664,712	B	埋立てについて、減量を図りながら延命化に努める必要がある。	B	最終処分場の延命化を図るため、分別を徹底し埋立てごみの削減を図る必要がある。	
粗大ごみ処理事業	環境課	5,659,463	3,597,500	9,256,963	B	粗大ごみについては、可燃と不燃に分別し、処理委託料の経費削減に努めるとともに、中間処理により一部再資源化を図った。	B	収集した粗大ごみについて、焼却する物、埋め立てする物、委託処理する物に職員が再分別している。引き続きコスト削減について検討する。	
ごみ有料化事業	環境課	1,108,019	30,271,124	31,379,143	B	概ね計画通りに進捗している。	B	コスト削減や在庫管理の徹底を図る。	
リサイクルセンター管理運営事業	環境課	16,244,786	37,358,108	53,602,894	B	使い捨てからリサイクルの定着に対応すべく、分別の徹底によりごみの適正処理ができています。	B	社会情勢によって、有価物から逆有償となりえる状況である。引き続き状況を注視する必要があり、逆有償になった場合の処理方法なども検討しておく必要がある。	

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
環境クリーン 事業	環境課	778,549	3,333,000	4,111,549	B	概ね計画通り進捗し、市内の環境美化が図られた。今後も周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究し、ごみの適正処理を推進していく。	B	周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究する。
構成事務事業名 (評価対象外)	近畿自然歩道事業、清掃総務費事務経費、塵芥処理費事務経費、(仮称)地域エネルギーセンター推進事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	し尿の適正な処理をする		施策の総合評価	A	課題 方向性	効率的な収集計画に基づきコスト削減に努め、適正に対応できた。 今後も、効率的な収集計画に基づき適正処理を行う。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	し尿収集事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	感染症の蔓延を予防する		施策の総合評価	B	課題 方向性	市内の側溝からの感染症を予防するためにも、害虫駆除事業は継続する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
公衆浴場設備 改善資金利子 補給補助事業	環境課	64,879	0	64,879	E	市内に1軒のみ公衆浴場が存続しているが、長年事業利用の実績がなく、当該事業者によれば今後も当事業利用の予定はないことから、廃止も含めて検討を行う。	E	市内に1軒のみ公衆浴場が存続しているが、長年事業利用の実績がなく、当該事業者によれば今後も当事業利用の予定はないことから、廃止も含めて検討を行う。
衛生害虫駆除 事業	環境課	129,758	36,960	166,718	B	概ね計画通りに進捗している。	B	概ね計画通りに進捗している。
構成事務事業名 (評価対象外)	畜犬登録事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	墓地などの適正管理に努める		施策の総合評価		課題 方向性	事務事業全体としては予定どおり進捗しているが、葬儀事業等、見直しができるところは今後の課題として取り組んでいく。			
			A	担当部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
葬儀事業	環境課	908,307	7,164,393	8,072,700	B	適正かつ効率的な運営を行うことができた。	B	令和4年度中に葬儀祭壇等の入替えを実施しているが、今後も経費削減に努めつつ、安全に運営を行えるように備品の修繕及び更新を行う。	
ささゆり苑管理運営事業	環境課	1,297,582	37,209,423	38,507,005	B	民間での葬儀が増えている中で、ささゆり苑を利用する人が不便なく利用できるように施設の管理に努め、効率的な運営を図ることができた。今後も適正かつ効率的な運営に努める。	B	市民に欠かせない施設として、火葬炉修繕を行いながら延命化に努め、多様化する市民ニーズに対応できるように効率的な運営を図ることができた。	
市営墓地管理事業	環境課	2,525,331	13,190,789	15,716,120	B	一般墓地貸付率が90%台で推移しており、市民サービス面でも適正に運営できている。現状のまま事業を継続していく。	B	近年の社会情勢等から墓地の需要に変化が見られる中で、墓地の貸付数についてはここ数年5件程で推移しており、需用費等のコストを抑えることで、1基あたりの維持管理経費を大幅に減少させることにつながっている。	
構成事務事業名 (評価対象外)	市営墓地使用料還付事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

5 暮らしを支える都市機能の整ったまち
 (1) 快適に暮らせるまちづくり
 ①快適な都市機能の維持

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	下水道事業の健全経営と維持管理を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	経費回収率が目標値を下回らないように、下水道使用料について、定期的に改定を検討していく。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	下水道事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	道路などの整備と適切な維持管理に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	地域の美化意識の向上及び組織の強化などに有効である。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
道路愛護事業	都市整備課	1,297,582	459,040	1,756,622	B	地域の道路美化活動を推進し、快適に暮らせるまちづくりを実現させるためにも継続して実施していく。	B	高齢化により参加人数が減少傾向ではあるものの、地域の清掃活動なくしては道路美化が保たれないことから、今後も引き続き継続して事業を実施する。
構成事務事業名 (評価対象外)	交通安全施設整備事業、街灯維持管理事業、道路橋梁維持管理事業、道路台帳整備事業、道路橋梁整備事業（都市整備）、道路橋梁整備事業（建設管理）							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	秩序ある都市空間を形成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	国・県等の受託事務であり継続実施する。 また、緊急車両の通行や防災機能の向上を図るため、狭あい道路の解消に向けて継続していく。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	土地利用規制等対策事業、屋外広告物取扱事業、地籍調査事業、都市計画総務費事務経費、土地区画整理事務経費、建設管理課事務経費、都市整備課事務経費、狭あい道路整備事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②安心な住環境の保全

取り組み事項	住環境の整備に努める		施策の総合評価		課題 方向性	住宅に対して地震や土砂災害から被害を軽減するための支援事業であり、安全面からの実施の必要性など引き続き周知を行いながら、継続して実施していく。		
			B	担当部				建設農林部
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
簡易耐震診断 推進事業	都市整備課	2,724,922	473,000	3,197,922	B	引き続き事業の周知を行いながら、市民の安全性を確保するため継続して実施する。	B	引き続き広報紙やホームページ等で事業の啓発を行い、災害時における市民の安全に関する意識の向上を図っていく。
住宅耐震改修 促進事業	都市整備課	2,141,010	1,200,000	3,341,010	B	耐震診断実施者へのフォローアップ及び対象工事拡充のPRを行いながら、市民の安全性を確保するため継続して実施する。	B	広報紙やホームページによる普及啓発以外に、相談会の開催や耐震診断実施者へのフォローアップなどさらなる啓発に努め、市民の住宅への地震に対する安全性確保への認識を促す。また、令和6年度より近隣市町での利用実績のある建替工事についても助成対象とすることで、市民にとって利用しやすい制度とし、安全性の確保を図る。
住宅・建築物 土砂災害対策 支援事業	都市整備課	454,153	0	454,153	B	事業の更なる周知方法を検討した上で、市民の安全性を確保するため継続して実施する。	B	対象となる住宅・建築物を所有する住民への制度周知の方法を検討し、事業を推進していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公園、緑地の保全を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	引き続き、適正な維持管理のもと安全安心な公園の環境整備に努める。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	公園施設維持管理事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公営住宅などの適切な管理に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	入居率は減少傾向にあるものの、8割以上を確保している住宅もあり、概ね有効に市民サービスに供されている。今後は、長寿命化計画に基づき市営住宅の建替事業を推進していくとともに、その他の住宅についても計画的な修繕を行い延命化を図る。			
			担当部	建設農林部					
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事業事業名 (評価対象外)	住環境整備費事務経費、再開発住宅管理事業、公営住宅維持管理事業、コミュニティ住宅管理事業、定住促進住宅管理事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③港湾と河川の保全

取り組み事項	港湾の維持管理及び活用を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	官民連携により海岸環境が保たれ、快適な住環境が確保できている。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
海岸美化対策事業	都市整備課	1,297,582	169,680	1,467,262	B	官民が一体となって海岸環境を保全する効果的な事業であり、引き続き、連携を密にしながら実施していく。	B	地域住民の高齢化により参加人数が減少傾向ではあるものの、活動の継続的な実施により環境美化に努めたい。
構成事務事業名 (評価対象外)	港湾管理事業、ポンプ場管理事業、海岸美化対策事業（都市整備）、港湾整備事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	河川の保全を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	地域の美化意識の向上及び組織の強化などに有効である。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
河川愛護事業	都市整備課	1,621,977	299,870	1,921,847	B	地域の河川美化活動を推進し、快適に暮らせるまちづくりを実現させるためにも継続して実現する。	B	高齢化により参加人数が減少傾向ではあるが、地域の清掃なくしては河川美化を維持できないことから、今後も継続して事業を行っていく。
構成事務事業名 (評価対象外)	河川等改修事業、河川管理事業、ポンプ場管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 地域生産力の向上を目指すまちづくり
 ①農林水産業の持続的発展

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	農業の振興を図る		施策の総合評価		課題 方向性	国の補助金・交付金事業に関連した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。		
				B				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
夢ある農村づくり推進事業	農林水産課	2,465,406	2,366,000	4,831,406	B	特産品の安定生産のため、引き続き支援を行う。	B	農業振興のため、細やかな支援ができるよう、ニーズに沿った補助メニューを設置しているが、実績を踏まえ重点的に取り組む施策へ補助メニューの見直しを引き続き検討していく。
上松農業共同作業所管理事業	農林水産課	194,637	0	194,637	B	指定管理者と連携し、施設を維持する。	B	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。
中山間地域等直接支払事業	農林水産課	1,297,582	2,565,596	3,863,178	B	中山間地域の農業を引き続き支援する。	B	農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きくなっているのが現状である。引き続き市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る必要がある。
ふるさと交流館管理事業	農林水産課	778,549	8,750,832	9,529,381	B	指定管理者と連携し、利用者増を図る。	B	現在の指定管理者が効率的かつ有効的に施設運営を行い、利用率の向上を図ることができるよう、引き続き市との協力体制を強固なものにしていく。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	農業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	国の補助金・交付金事業に関連した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
有害鳥獣対策 事業	農林水産課	2,789,801	9,058,810	11,848,611	B	継続して有害鳥獣の駆除を推進する。	B	農作物被害の更なる減少を図るため、継続して有害鳥獣の駆除を推進していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	農業金融制度利子補給事業、土地改良事業、農業委員会費事務経費、農業総務費事務経費、農業振興等奨励事業、ふれあい公園管理事業、環境保全型農業直接支払事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	森林整備及び保全を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	指定管理者と連携し、施設の更新を行って行く必要がある。意向調査を実施した後、森林資源の利活用方法について検討が必要。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
林業振興事業	農林水産課	4,751,156	445,160	5,196,316	B	林業発展のため、林業に携われる場を提供し、技術を継承していく必要がある。	B	林業教室を開催することにより、林業技術の伝承や後継者育成につながっている。
羅漢の里管理事業	農林水産課	1,342,526	17,634,732	18,977,258	B	更なる利用者の増加を目標とし、指定管理者と連携して、有効な施策を実施していく。	B	新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、利用者は増加傾向である。より多くの人に利用してもらうため、指定管理者と連携しながら、PR等の啓発や施設の修繕等を行っていききたい。
森林環境基金事業	農林水産課	1,038,065	5,736,300	6,774,365	B	意向調査や境界明確化の為に候補図作成、危険木伐採等、森林に寄与する効率的な事業の推進を図る。	B	森林環境譲与税や基金の活用方法について、森林所有者への利用意向調査を行っていくと同時に、境界明確化の為に候補図作成や危険木伐採等の実施可能な事業を行っていく。
構成事務事業名 (評価対象外)	遊歩道整備事業、林道維持修繕事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	水産業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生牡蠣の生産振興を中心とした事業構成であるが、6次産業化の推進など、他の施策と合わせ複合的に推進していく必要がある。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
水産業振興事業	農林水産課	389,274	5,500,000	5,889,274	B	漁業協同組合や関係機関と連携し、引き続き、水産業の安定的な経営を支援する。	B	漁業協同組合や関係機関と連携し、引き続き、水産業の安定的な経営を支援する。
水産物市場管理事業	農林水産課	713,670	8,129,566	8,843,236	C	施設の必要性も含め、施設の在り方を検討していく必要がある。	C	施設の必要性も含め、施設の在り方を検討していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	水産業振興費事務経費、漁船保険補助事業、漁業近代化資金利子補給事業、漁業金融制度利子補給事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

6 まちづくりを進める土台を強化する
 (1) 安定した持続可能な行政経営
 ①定住の促進と関係人口の拡大

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	まちの認知度の向上を図る		施策の総合評価		課題 方向性	新たに住宅検討層及び結婚・子育て関心層へSNS広告を実施するなど、ターゲットを絞った戦略的な相生市のPRを行うことができた。今後も、相生市の認知度向上のために、様々な手法の中から効果的な手法を研究・選択し、市内外へ効果的にPRを行っていく。		
			A	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市定住促進PR事業	定住促進室	1,726,969	3,208,160	4,935,129	C	まちの認知度向上のためには、重要な事業の一つである。PRの方法を効果検証を行い、ブラッシュアップしていく必要がある。	C	市の知名度向上、人口社会増対策のために、様々な手法を用いて、市の取組をPRすることは重要なことである。
相生市定住・移住相談事業	定住促進室	1,567,126	14,700	1,581,826	C	定住・移住相談事業を行うことは、相生市の人口増減だけでなく、定住・移住希望者を含めたまちの知名度向上に寄与するものであり、今後も行っていく必要がある。	C	オンライン相談を取り入れるなど、相談メニューを豊富にすることで、移住希望者が相談しやすい体制が整い始めた。今後は閉庁時でも相談・質問に回答できる仕組みづくりが必要と考える。
シティプロモーション事業	企画広報課	2,984,439	3,665,778	6,650,217	C	認知度の向上は必須であり、ターゲットを明確にして実施するとともに、手法についても費用対効果を検証しながら行う必要がある。	C	時代に即したPR手法や、効果検証方法について研究しながら事業を継続していく。
広報事業	企画広報課	7,461,097	6,956,579	14,417,676	C	広報紙は全市民に市政情報を提供できる手段として非常に重要である。今後も広報紙に関する満足度調査等により、ニーズの把握に努めるとともに、市外の方にも市公式LINE等様々な媒体による情報発信を積極的に行い、まちの知名度向上へつなげていく。	B	広報紙は全市民に情報を提供できる重要な手段であり、市政情報のみならず、市の魅力についても発信することができ、市政への関心を高めるとともに、本市への愛着と誇りの醸成につながる。

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	まちの認知度の向上を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	新たに住宅検討層及び結婚・子育て関心層へSNS広告を実施するなど、ターゲットを絞った戦略的な相生市のPRを行うことができた。今後も、相生市の認知度向上のために、様々な手法の中から効果的な手法を研究・選択し、市内外へ効果的にPRを行っていく。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
ホームページ 整備事業	企画広報課	6,423,031	1,786,730	8,209,761	C	<p>情報提供や情報公開のツールとして非常に重要な事業であることから、誰もが見やすいホームページを整え、積極的に情報提供を行っていく。</p>	B	<p>インターネットの普及等により、アクセス数も増加しており、情報提供や情報公開のツールとして非常に重要な事業であることから、引き続き、市民のニーズに対応した情報提供を行っていく。</p>
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ふれあいのあるまちづくりを推進する		施策の総合評価		課題 方向性	知恵と工夫により、本市に対する愛着と絆を強める事業を展開し、本市に住み続けていたいと思う人を増やすことで、転出者を抑制する。		
			C	担当部				企画総務部
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市民さわやかあいさつ運動事業	企画広報課	129,758	0	129,758	B	ウィズコロナ・ポストコロナにおいても、本市への愛着と絆を強めるため、引き続き実施する。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、あいさつ運動キャンペーンが中止となり事業が縮小してしまった。そのため、広く啓発できる効率的効果的な手法の検討する必要があるものの、あいさつ運動を継続していき、市民の住みよさの実感を高め、本市への愛着と絆を醸成していく。
国際交流事業	企画広報課	2,595,164	250,000	2,845,164	B	引き続き、市民の国際理解の促進、外国人の生活環境の向上を図り、住みやすいまちづくりにつなげる。	B	日本語教室などのイベントを通じて、国際交流の場が設けられ、外国人の生活環境の向上も図られている。
隣保館活動事業	総務課	4,893,137	1,126,551	6,019,688	B	周辺地域住民との人権交流の場の提供や相談の実施を継続していくことにより、ふれあいのあるまちづくりにつなげる。	B	利用者の高齢化、固定化といった課題はあるものの、住民の生活相談や人権交流の場として、周辺地域住民等との交流の場として必要な活動である。また、インターネット上への書き込み等新たな課題もあり、モニタリングの実施等により同和問題の解決に向け取り組んでいく必要がある。
非核平和展事業	総務課	1,297,582	26,890	1,324,472	B	原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりが「平和の尊さ」について考える機会を提供することにより、ふれあいのあるまちづくりにつなげる。	B	社会情勢に応じて事業内容は年度によって異なるが、毎年開催することで、原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりが「平和の尊さ」について考える機会を作る。
構成事務事業名 (評価対象外)	地域改善対策事業、隣保館管理運営事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	住みやすいまちづくりを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	「あつまれ新婚さん新生活応援金交付事業」により、子育て世代の移住・定住促進に努めており、事業利用者のうちの多くが転入者であり、社会増減数の維持に寄与している。					
			担当部	企画総務部		施策からみた評価			事業単独でみた評価		
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	方向性	所見	方向性	所見			
企業立地促進事業	企画広報課	3,049,318	6,370,000	9,419,318	C	引き続き、新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存企業の移転の促進を行い、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保を行う。	B	企業のニーズに合った用地が少なく、新たな進出には結びついていないが、引き続き、助成制度等を整備しておくことにより、新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存企業の移転の促進を行い、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保を行う。			
ふるさと応援事業	企画広報課	7,915,251	163,526,387	171,441,638	A	市場ニーズの拡大に合わせて、魅力的な返礼品の開発や、効率的なPRを行うためにポータルサイトを拡充するなど、事業を拡大していく。	A	ふるさと応援寄附は市場ニーズも拡大しており、引き続き返礼品の開発やポータルサイトの拡充などに努めることにより、相生市をPRしていくこととする。			
新婚世帯家賃等補助金交付事業	定住促進室	2,535,603	23,053,000	25,588,603	B	子育て世代が相生市に住むきっかけのひとつになっており、引き続き、事業を実施していく。	B	子育て世代への切れ目ない支援を行うための11の鍵事業のひとつであり、経済的な理由により結婚できない若年層への結婚支援策として有効に機能している。引き続き事業を実施することで婚姻数を維持しながら、定住人口の拡大へとつなげていく。			
住宅取得奨励金交付事業	定住促進室	1,337,694	8,750,000	10,087,694	B	新婚世帯等家賃補助金事業等を活用し転入してきた世帯等に対して、住宅取得に対する補助を行うことで転出抑制を図る事業であるため、引き続き、事業を実施することで、定住人口の増加につなげていく。	C	制度内容については、現状のまま継続で考える。新婚世帯家賃補助からの流れを今一度見直す必要があることと、中古物件についての問い合わせもあることから他の補助制度と合わせ、補助対象においても見直しを検討する。			

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	住みやすいまちづくりを推進する		施策の総合評価	B		課題 方向性	「あつまれ新婚さん新生活応援金交付事業」により、子育て世代の移住・定住促進に努めており、事業利用者のうちの多くが転入者であり、社会増減数の維持に寄与している。		
			担当部	企画総務部					
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
あいおい暮らしお試し移住事業	定住促進室	2,765,035	2,622,495	5,387,530	C	幅広い移住希望者に対応した事業とすることで、一人でも多くの移住者・定住者の獲得につなげたい。そのためにも、駅周辺部にある既存のお試し住宅以外の施設の獲得などを検討する必要がある。	C	これまでと違った物件の確保又は体験プログラムの追加を検討することで、幅広い移住希望者のニーズに対応し、移住者の増加へとつなげていく必要がある。	
構成事業名 (評価対象外)	あいおいアクアポリス事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②社会の変化に対応する組織と体制の充実

取り組み事項	行政改革を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	今後は、行政評価の結果を実施計画・予算・人員配置等に反映できる仕組みづくりを研究していき、社会の変化に対応した行政改革を推進し、質の高い行政サービスにつなげる。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
教育特区事業	企画広報課	3,179,076	56,100	3,235,176	B	特区制度を活用して、民間活力を活用し学校が設置され、学校跡地の活用、地域の活性化など一定の成果を挙げている。	B	特区制度を活用して、学校が設置され一定の成果を挙げている。また、学校運営は民間、学校の評価については、学校設置審議会を活用と役割が明確化されており効率的に実施できている。
行政評価システム推進事業	企画広報課	1,816,615	2,092,440	3,909,055	C	行政改革を実施するに当たって、行政評価を実施することは必要である。引き続き、全庁で統一した考えのもと行政評価を実施し、行政改革へつなげていけるよう検討を行いながら実施する必要がある。	C	実際に事業拡大や廃止などに結び付いた事業もあり、効果的に行政評価を行えている。今後より一層事業のスクラップアンドビルドに役立てていけるように実施していくこととしたい。
行政改革事業	企画広報課	1,686,856	38,500	1,725,356	C	懇話会等の審議会の開催方法についても更に検討を進めた上で、より多くの意見が吸い上げられるよう、引き続き、行政改革事業を推進していく。	C	委員の募集方法・開催方法についても更に検討を進めた上で、引き続き、行政改革事業を推進していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	総合計画策定事業							

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	職員の資質向上を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	研修計画に基づき、役職に応じた階層や経験年数等に合わせた研修体系により、計画的に研修を実施した。派遣研修では、対面・オンラインにより効率よく受講することができた。また、相生市人材育成基本方針に基づき、社会情勢の変化に対応する人材を育成するため、庁内の管理・監督職から委員を選定した研修委員会を開催し、高い研修効果を得られるよう、各研修の内容について検討・見直しを図った。結果として、受講対象者に対して、適正に研修を実施し、研修後の受講者の理解度・達成度も高く、施策成果指標において、概ね目標を達成できた。今後については、更なる職員の資質を向上し、社会情勢の変化や市民ニーズに沿った内容となるよう、研修委員会や、受講アンケート結果を活用し、研修メニュー、研修機関等の検討・見直しを常に行い、研修の効果を高めていく。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	情報公開・個人情報保護等事業、農業総務費人件費、職員研修事業、遺族年金事業、文書事務管理事業、福利厚生事業、労務管理事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	電子自治体の推進		施策の総合評価	A	課題 方向性	先進自治体の事例等を参考に、行政手続きオンライン化の対象となる業務拡充に向けた、庁内調整を継続実施する。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	基幹系システム管理運営事業、情報系システム管理運営事業、ICT推進事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	広域行政を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	複雑多様化する社会の変化に迅速に対応するため、また、広域的な行政需要に対応するため、引き続き、広域的なネットワークを維持するとともに、新たな課題に対して、広域的に対応し、持続可能で十分な市民サービスを提供できる組織を目指す。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	西はりま消防組合事業、特定用地管理委託事業、安室ダム水道用水供給事業、西播磨水道企業団事業、広域行政事業								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③安定した行政経営基盤の確立

取り組み事項	健全な財政運営を行う		施策の総合評価	A	課題 方向性	令和7年度までの5か年計画である第4期行財政健全化計画に基づき、少子高齢化による社会保障費や公共施設の老朽化に伴う更新経費等の増加への対応や、近年全国で頻発している大規模災害への備えも必要となり、将来にわたり必要な行政サービスを安定して提供していくため、引き続き行財政健全化を進め、堅実で持続可能な財政運営に努める。				
			担当部	財務部						
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	方向性	施策からみた評価 所見		方向性	事業単独でみた評価 所見	
構成事業事業名 (評価対象外)	財政調整基金事業、減債基金事業、庁舎建設基金事業、市民病院事業									

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公有財産の活用と管理を推進する		施策の総合評価	D	課題 方向性	売却可能地については、広報やホームページに掲載し周知しているが売却に繋がっていないため、未利用市有地（売却可能地）の民間による活用提案を検討、実施する必要がある。 また、市として市有財産の把握を行った上で、利活用に関する基本方針や計画を作成する必要がある。			
			担当部	財務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費（円）	事業費（円）	支出合計（円）	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
市有財産管理 事業	財政課	8,304,526	70,829,577	79,134,103	C	市有財産の有効活用施策の検討を進め、計画的な維持 保全が必要である。	C	市として、市有財産の利活用に係る方針等を策定し、 利活用できる普通財産を把握、整理し、計画的に活 用・処分していく必要がある。	
構成事務事業名 (評価対象外)	庁舎管理事業（管財）、公用車両管理事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公平な課税と納税意識の高揚を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	システムを有効活用して課税調査を行った。預金調査システム等を活用して積極的な滞納整理を進めた。			
			担当部	財務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	国民健康保険事業(徴収)、税務総務費事務経費、賦課徴収費事務経費(市民税等)、賦課徴収費事務経費(固定資産税)、賦課徴収費事務経費(徴収)、介護保険事業(徴収)、後期高齢者医療保険事業(徴収)、介護保険事業(徴収)、介護保険事業(徴収)、後期高齢者医療保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)								

施策の総合評価・・・A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

④その他

取り組み事項	その他		施策の総合評価		課題 方向性					
			担当部	企画総務部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価		
					方向性	所見		方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	国民年金事業、一般管理費事務経費(財政)、一般管理費事務経費(秘書)、財産管理費事務経費、企画費事務経費、事故等賠償事業、公債費元金償還事業、公債費利子償還事業、予備費、職員退職手当基金事業、統計調査事務事業、工業統計調査事業、経済センサス事業、厚生労働統計調査事業(市民)、戸籍住民基本台帳等事務事業、議会費事務経費、議会活動事業、会議録作成事業、議会報作成事業、選挙管理委員会費事務経費、市長選挙執行事業、監査委員事務事業、公平委員会費事務経費、一般管理費事務経費(出納)、会計管理事業、国勢調査事業、農林業センサス事業、固定資産評価審査委員会事務経費、市議会インターネット配信事業、県補助金等返還事業、国庫補助金等返還事業、衆議院議員選挙及び最高裁国民審査執行事業、知事選挙執行事業、県議会議員選挙執行事業、市議会議員選挙執行事業、一般管理費事務経費(総務)、市税等過誤納金還付事務事業、諸費事務経費(総務課)、庁舎管理事業(総務)、漁業センサス事業、各種料金返還事業									